

ネイティブチキンマリックデヒドロゲナーゼ (オキサロ酢酸脱炭酸酵素)

Cat. No. NATE-0446

Lot. No. (See product label)

はじめに

 \Box 明 マリック脱水素酵素(MDH)は、真核細胞内に $\mathbf{2}$ つのアイソフォームとして存在します。 $\mathbf{1}$ つ

はミトコンドリアで発現し、TCAサイクルで機能し、もう1つは細胞質にあり、ミトコンドリ

アからのマレートをオキサロ酢酸に□す役割を果たします。

用途 マリック脱水素酵素は、若いイエローフィッシュ(Pelteobagrus fulvidraco)の食事中のマ

ンガン必要量を評価し、全身のミネラル組成および肝臓の中間代謝への影響を調□する研究に 使用されました。また、ランシャン鶏からの線維芽細胞株の確立と生物学的特性を調□する研

究にも使用されました。

別名 マリック酵素 (あいまい); ピルビン酸-マリックカルボキシラーゼ (あいまい); マレート脱水素

酵素 (脱炭酸, NADP+); NADP+結合脱炭酸マリック酵素; NADP+-マリック酵素; NADP+特異的マリック酵素; NADP+特異的マレート脱水素酵素; マレート脱水素酵素 (NADP+, 脱炭

酸); L-マレート:NADP+オキシドレダクターゼ; EC 1.1.1.40; 9028-47-1

製品情報

種 鶏肉

由来 鶏レバー

形態 硫酸アンモニウム懸濁液; 10 mM カリウムリン酸塩、0.5 mM 2-メルカプトエタノ―ル、10

mM 塩化マンガン、3 mM Na4EDTAを含む2.9 M (NH4)2SO4溶液中の懸濁液、pH 6.0

EC番号 EC 1.1.1.40

*CAS*登□番号 9028-47-1

活性 10-30 ユニット/mg タンパク質(修正ワールブルグ-クリスチャン)

単位定義 1ユニットは、pH 7.4、25°Cで1分あたり1.0 μ moleのL-マレートとNADPをピルビン酸、

CO2、およびNADPHに□換します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C